

『教育カウンセラー』認定申請のご案内



特定非営利活動法人 日本教育カウンセラー協会

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-4-15

Tel : 03(3941)8049

Fax : 03(3941)8116

Mail: jim@jeca.gr.jp

HP : <http://www.jeca.gr.jp/>

【教育カウンセラーとは】

教育カウンセリングとは、児童、生徒、学生が成長の過程で経験する適応、学習、進路などに関する諸問題を解決する方法体系です。教育カウンセリングは次の2点で従来の治療的カウンセリングと異なります。ひとつは個人だけでなく学級などの集団をも対象とする点です。構成的グループエンカウンターなどの方法で集団そのものに働きかけ、集団を通して個を育てることをめざすという点で、従来のカウンセリングよりも教育場面になじみやすいといえます。もう一点は、問題をもつ子どもを「治す」ことに主眼を置くのではなく、むしろ問題を予防し、子どものもつ可能性を開発する「育てる」観点に立った援助をめざす点です。

このような教育カウンセリングの考え方と方法を身につけ、教育のフィールドから社会に貢献する専門家が教育カウンセラー（certified professional educator）です。

【教育カウンセラーの種類】

『教育カウンセラー』資格には次の種類があります。

- ◆初級教育カウンセラー 最もベーシックな資格で、日常の教育指導に教育カウンセリングの考え方や技術を活用することができる人です。
- ◆中級教育カウンセラー 豊富な実践経験を生かし、学校や職場で、ガイダンス・カウンセリングのリーダーとして活躍できる人です。
- ◆上級教育カウンセラー 専門性を生かし、研修会等で講師あるいはスーパーバイザーとして他の人の指導にあたる人です。

最初は、初級教育カウンセラーの申請となります。初級資格を取得した後、中級・上級教育カウンセラー資格認定試験を受験、審査・認定を受けて中級・上級教育カウンセラー資格へ変更することができます。

それぞれの資格種別に必要な申請要件は、特定非営利活動法人（NPO）『日本教育カウンセラー協会認定「教育カウンセラー」制度規程』によりますが、教育カウンセラーとしての力量を客観的に判断しやすくするために、自己評価票（様式 S-2R6）を用意しました。認定申請書・履歴書（様式 S-1R6）を記入した後、対応する項目を自己評価票でチェックしていくことで、判断できます。

【初級教育カウンセラーの認定方法】

初級教育カウンセラーの認定は次のような方法で実施します。

(1) 養成講座受講

原則として、認定の申請は、本部または支部主催の『教育カウンセラー養成講座』で受け付けています。講座の受講申込をいただき、本部ホームページから認定申請書類をダウンロード、必要事項を記入の上、会場窓口で申請担当者と面談し、書類を提出してください。なお、申請料 10,000 円は別途振込みいただきます。

(2) 筆記試験

『教育カウンセラー養成講座』では、20 問程度の筆記試験を実施します。試験の出題範囲は『新版二版教育カウンセラー標準テキスト 初級編』（NPO 日本教育カウンセラー協会編・図書文化社刊）の内容に準拠したものとなります。本テキストのみ試験時に持込可としています。

(3) 認定審査

認定委員会では、3 ないし 4 名の委員が、申請者一人ひとりの申請書類・筆記試験を総合して審査します。最終的に、理事会の承認を経てご本人に通知します。

認定結果は、「合格」・「要望つき合格」・「再審査」・「保留」・「不合格」の 5 段階があります。「要望つき合格」は、認定証は発行されますが、十分に要件を満たしているとはいえない項目がありますので、今後条件を満たすよう一層努力していただくことを要望するものです。

「再審査」の場合、条件を満たす証明を提出いただき、再度認定委員会で審査を行います。

「保留」は、特に必須要件（実践歴 2 年以上など）を満たしていない場合ですので、条件を満たすまで審査を保留してお待ちするという意味です。

(4) 登録

認定委員会の審査に基づき、理事会の承認を経て認定されます。理事会の決定後、「認定審査結果通知書」をご本人宛てに郵送いたします。同時に登録料等を振込むための振替用紙が同封されます。案内に記載された期限内にお振込みをお願いします。

登録料等は以下のとおりです。

合格・要望つき合格の場合は、登録料 20,000 円および年会費 4,000 円。

再審査・保留の場合は、年会費 4,000 円のみとなります。

なお、いずれの場合もすでに会員登録がお済みの方は改めて会費をお振込みいただく必要はありません。

登録料等の着金を事務局で確認でき次第、「教育カウンセラー有資格者名簿」に登録され、認定証を発行いたします（制作の都合上、2 か月ほどを要します）。

(5) 認定証の有効期間

認定証は、認定された年度から 7 年間有効です（有効期限は認定証に明記されています）。更新期限の 2 か月前に振替用紙が送付されますので、更新手数料 2000 円をお振り込みください。

ID カード発行を希望の方は別途手数料 4000 円とお写真を頂戴します。

【中級・上級資格への種別変更】

初級教育カウンセラー資格取得後、他の資格区分への変更を希望する場合（たとえば初級から中級への変更など）は、教育カウンセラー資格認定試験を受験します。変更を希望する場合は、**教育カウンセラー資格認定受験要項**を本部ホームページからダウンロードし、受験資格を満たした上で、資格認定試験受験申込書に必要書類を添えて提出してください。資格認定試験を受験し、認定委員会にて審査して理事会での承認を経て通知します。

中級・上級カウンセラー資格認定試験の受験料は、中級・上級とも 15,000 円です（認定証発行費用を含みます）。

【日本教育カウンセラー協会への入会】

教育カウンセラーおよびピアヘルパーの資格取得者は、特定非営利活動法人（NPO）日本教育カウンセラー協会の会員に登録されます。また、これから教育カウンセラーの資格所得をめざす方も会員となることができます。

会費は1年 4,000 円です。入会希望の場合は、FAX で住所・氏名・所属機関・役職を明記の上、入会希望の旨をご連絡ください。ニュースレター最新号と会費の振替用紙をお送りいたします（教育カウンセラー資格取得者は、登録料の送金時に合わせてお振込みいただきます）。

会員の特典は次のとおりです。

(1) ニュースレターの送付

研修会情報・新刊書評・支部だよりなど、役立つ情報を盛り込んだニュースレター（協会機関誌）をご案内します。

(2) 養成講座ご案内の送付

各地で行われる教育カウンセラー養成講座についてご案内します。

また、参加費等が割引される場合もあります。

(3) 参考図書の特価購入

教育カウンセリング関連の書籍を会員特価で購入することができます。

【ご注意】 会費は毎年 6 月頃に継続のご案内と振込用紙をお送りします。必ず期限までに納入してください。

【申請書類の記入のしかた】

申請書類には、次の2種類の用紙が入っています。

◆認定申請書・履歴書（様式 S-1R6）

◆認定申請自己評価票・研修内容チェック表（様式 S-2R6）

以下、それぞれの様式の記入方法を説明します。

〔認定申請書〕（おもて面）

- 写真は50×40～30×30程度の大きさのものを貼付してください（カラー、モノクロいずれも可）。
- 所属学会（研究会も含む）は主なものを記入してください。所属のない場合は空欄でも結構です。なお、初級・中級・上級資格取得者は推薦人がなくても「日本教育カウンセリング学会」の学会員となることができます。

〔履歴書〕（中見開き）

➤添付書類には通し番号をふり、対応する「資料No.」欄にその番号を記入してください。

I 学 歴

高校（旧制中学校を含む）の卒業時からお書きください。

最終学歴の卒業証書・学位記などのコピーを添えてください。

II 学位・免許・資格

修士・博士の学位，教員・養護教員・保育士等の免許，教育・カウンセリング・福祉・医療関連資格をお持ちの場合はこの欄に記入してください。証明する書類のコピーを添付してください。

III 職 歴（教育カウンセリングに関する実践歴を中心に記入してください）

（記入例）

2010年4月～2015年3月	東京都〇〇区立〇〇小学校	教諭
2015年4月～2018年3月	〇〇市教育相談センター	指導主事（教育相談担当）
2018年4月～2023年3月	〇〇市立〇〇中学校	教諭（進路指導主事）
2023年4月～ 年 月	〇〇市教育委員会（ボランティア）	家庭教育相談員

➤役職・担当は、「生活指導係」・「教育相談担当指導主事」・「養護教諭」・「心の教室相談員」・「電話相談員」などと具体的に記入してください。

➤学校や公的機関以外に実践の場を持っている場合（例えば、ボランティア、企業の人事・教育・研修担当以外で実践している場合など）は、**実践内容証明書（様式 S-6）**を添付してください。

IV 研修歴 カウンセリング・進路指導（キャリア教育）・生徒指導・心理検査等・人権教育・福祉・保健医療など関連分野の講座受講歴を記入してください。（講演会等は除く）

年 度	研修講座名	主催者・スーパーバイザー	総研修時間	備考	資料 No.
2023年	教育カウンセラー養成講座	NPO 日本教育カウンセラー協会	18 時間		③
2021年	〇〇県教育委員会カウンセリング初級講座	〇〇県教育委員会	30.5 時間	宿泊研修	④
2022年	交流分析実技講座	〇〇カウンセリングスクール	20 時間		⑤
2022年	K-ABC 実技認定講習会中級コース	KABC アセスメント研究会	15 時間		⑥
2010年	長期研修・内地留学	〇〇大学学校教育部	6 か月		⑦
2012年	科目等履修生・研究生	放送 大学・短大	4 単位		⑧
	事例研究会	〇〇市教育相談部	計 40 時間		⑨
	スーパービジョン（当協会指定様式）	上級教育カウンセラー 〇〇〇	計 2 回		⑩
	SGE 宿泊コース	〇〇支部主催	計 2 回		⑪
	教育カウンセラー養成テキスト学習塾	NPO 日本教育カウンセラー協会	4 時間		⑫

➤時間数は、講義・セッションの合計時間（休み時間は含みません）を計算して記入します。

修了証等に合計時間が明示されている場合はそれを記入します。

➤カウンセリング専門校（例：安田生命社会事業団など）での研修もこちらに記入してください。

長期の場合も、総時間数を計算して記入してください。

➤大学・大学院・教育センター等への内地留学・長期研修は、期間を「1年間」、「6か月間」などのように記入してください。指導教官・スーパーバイザーは備考欄に記入してください。

また、派遣申請書のコピーも添付してください。

➤大学・短大（放送大学など通信制大学を含む）の科目等履修生として単位を取得した場合は、合計取得単位数を記入します。

事例研究会 ⇨ 個人が抱えている問題や悩み、症状などがどのように形成されたか、どのように理解したらよいか、どのようなかかわり方が適切であるか等を検討する場。主なねらいは個々の事例から一般化できる理解の仕方や援助法を確立すること。校内、職場内の事例研究会でも経験と見識のある指導者がいる場合は含めてよい。
研修歴と二重の記載はしないこと。

スーパービジョン ⇨ 実際の場合（個別面接やグループ指導など）での対応の仕方を手取り足取り助言すること。ねらいは、カウンセリングのハウ・ツーを伝授することである。初級・中級教育カウンセラーは上級教育カウンセラーのスーパービジョンを受けることが望ましい。（本協会指定用紙に限ります）

SGE 宿泊コース ⇨ 1泊2日以上集中的なグループ体験。思考・感情・行動の特徴（偏りや自己盲点）やその意味に気づくことができる。援助専門職にとって、なかなか得られない教育分析の機会であり、教育カウンセラーには必須の研修である。

V 研究歴 教育カウンセリング関連分野での発表・著述活動について主なものを記入します。

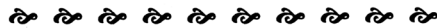
2019年	口頭・論文・著書	不登校児A子の事例	〇〇県教育相談研究会	⑪
2020年	口頭・論文・著書	進路意識と自己肯定感に関する実証的研究	〇〇〇〇学会 ポスター発表	⑫
2023年	口頭・論文・著書	不登校児の学習意欲に関する研究	月刊「指導と評価」2023年6月号	⑬
2023年	口頭・論文・著書	東則貴監修 学級づくりのための指導案集 小学校編	大塚書房 分担執筆	⑭

- ・できるだけ最新のもの（過去5年以内くらい）で、単独の研究を中心に記入してください。
- ・監修者・編集者の名前、共同研究・共同発表・分担執筆であればその旨を明記してください。
- ・代表的な発表事例・論文等の写しを添付してください。認定委員が閲覧しますが、プライバシーにかかわる記述（氏名・所属等）があれば、抹消してコピーしてください。

VI 研修会講師歴、企画・運営歴

教育カウンセリング関連分野に関する講師歴を記入してください。大学等で連続した講義は、合計時間数をお書きください。レジュメ等があれば写しを添付してください。

また、研修会・ワークショップやサポートグループ等の企画・運営をした場合（自分の勤務先で行った研修等の企画・運営に関しては原則的には実践歴でカウントします。また、基本的に成人を対象にした内容に限ります）はその概要を記したパンフレット・チラシ等を添付してください。



〔認定申請自己評価票〕（様式 S-2R6）

履歴書の記述を見ながら、表中の該当する数字に○をつけ、右のマスに転記します（項目番号〔I, II…〕は履歴書の該当欄と対応しています）。

合計点で記入と但し書きのあるものは、丸のついた数字の合計を記入します。ただし、5ポイントを超える場合はすべて5とします。

どれも該当しない場合は空欄にしてください。

免許② 教員免許は複数ある場合でも4ポイントとしてカウントします。

資格③ 免許（教員免許など）はこれには含めません。「その他～」は複数ある場合でも1つとしてカウントします。

実践歴④ 履歴書の該当欄のうち、教育カウンセリング関連の経験年数（合計経験年数欄）をのべて通算して記入します。

研究歴⑧ 同一内容で論文と口頭発表をした場合は、いずれか一方のみカウントします。

〔研修内容チェック表〕（自己評価票裏面）

- 履歴書の研修歴欄で書き出した講座で受講した内容をチェック（○）します。
- 受講経験がないものは空欄のままで結構です。

【認定申請の留意点】

初級資格認定は書類審査に大きなウェイトをおいています。したがって、申請書に必要な情報が過不足なく記載されていることがポイントとなります。以前に受けた研修が教育カウンセリングの領域に属するものかどうか迷った場合などは、とりあえず記入し、内容の詳細がわかる資料を添付しておいてください。

また、認定審査では必ず「履歴書」と「自己評価票」とを照合しますので、それらの間に矛盾がないようにしてください。たとえば、自己評価票ではスーパービジョンに3ポイント入っているが、履歴書にその記載がないというような場合は、履歴書に合わせてスーパービジョンのポイントはゼロにカウントされてしまいますのでご注意ください。

以下は、実際の認定審査で使用している一般的な審査基準の一部です。これに筆記試験の結果を加え、さらに各チェック項目の総合的なバランスを見て判定しています。

➤ 初級教育カウンセラー

- ・申請の目安は「自己評価票」で11ポイント以上です。これより大幅にポイントが下回っている場合は、条件を満たした上で、申請するようにしてください。
- ・2年以上の実践歴が必要です。研修歴は、22時間以上の研修講座参加または5時間以上の事例研究会参加歴を要望します。（養成講座18時間も研修歴に該当します）
- ・教育カウンセラーは学級などの集団も扱うことができるプロフェッショナルです。したがって、個別面接のみならず、グループ体験（構成的グループエンカウンター1日講座など）の研修を受けていることが望ましいと言えます。

➤ 中級教育カウンセラー（受験資格）

- ・初級教育カウンセラーの資格を有する者
- ・教育カウンセリング関連領域での実践歴が5年以上ある者（教育学・心理学・医学・社会福祉学等、関連領域における修士以上の学位を持つ者はこの限りではない。）
- ・スーパービジョンの受講歴が最低1回あり、当協会の指定様式の記録票を提出した者
- ・研究論文を1編提出できる者（発表済・未発表のいずれでも構わない。）

➤ 上級教育カウンセラー（受験資格）

- ・初級もしくは中級教育カウンセラーの資格を有する者
- ・教育カウンセリング関連領域での実践歴が7年以上ある者（教育学・心理学・医学・社会福祉学等、関連領域における修士以上の学位を持つ者はこの限りではない。）
- ・スーパービジョンの受講歴が最低2回あり、当協会の指定様式の記録票を提出した者
- ・研究論文を2編提出できる者（学会・学校外の研究会等で発表済の論文であること。）

中級・上級教育カウンセラー認定試験の概要については、別途募集要項を用意しております。

【教育カウンセラーカリキュラム】

分野	科目	テキストタイトル	初級	中級	上級		
教育カウンセリングの原理・基礎	教育カウンセリング概論	教育カウンセリング概論	1	○			
		学校教育のABC	2	○			
	発達の理論	発達の理論	3	○			
		生涯発達理論		1	○		
	アセスメント	アセスメントの基礎	4	○			
		アセスメントの実際		2	○		
	哲学的基礎	哲学概論			1	○	
リサーチの方法	リサーチのABC		3	○			
	実践者が行うリサーチの方法				2	○	
教育カウンセリング理論の比較研究	カウンセリング理論の比較研究				3	○	
ガイダンスカリキュラムの原理		ガイダンスカリキュラムとは	5	○			
		ガイダンスカリキュラムの実際		4	○		
		アメリカにおけるガイダンスカリキュラム			4	○	
カウンセリングの理論	精神分析理論	精神分析理論	6	○			
	自己理論	自己理論	7	○			
	行動理論	行動理論	8	○			
	論理療法	論理療法		5	○		
	交流分析	交流分析		6	○		
	内 観	内 観		7	○		
	アドラー心理学	アドラー心理学		8	○		
	実存主義的アプローチ	実存主義的アプローチ			5	○	
	ブリーフカウンセリング	ブリーフカウンセリング			6	○	
教育カウンセリングの方法とスキル(実習を含む)	個別面接	個別面接の基本技法	9	○			
		個別面接の技法モデル		9	○		
		個別面接の諸形態と技法		10	○		
	事例研究・スーパービジョン	事例研究・スーパービジョンの基礎知識		11	○		
		事例研究・スーパービジョンの行い方				7	○
	構成的グループエンカウンター	構成的グループエンカウンター	10	○			
		構成的グループエンカウンターの留意点と実際			12	○	
		構成的グループエンカウンターのリーダー養成				8	○
		構成的グループエンカウンターの応用				9	○
	サイコエジュケーション	サイコエジュケーション(心の教育)	11	○			
	アサーショントレーニング	アサーショントレーニング		13	○		
	ソーシャルスキル教育	ソーシャルスキル教育		14	○		
	キャリアカウンセリング	キャリアカウンセリング		15	○		
	芸術療法	音楽療法				10	○
ピアサポート・ヘルピング	ピアサポート・ヘルピング		16	○			
リーダーシップ	リーダーシップ				11	○	
コーディネーション	チーム支援				13	○	
教育カウンセリングの扱う領域・問題	キャリア探索	キャリアガイダンス入門	12	○			
		キャリア探索		17	○		
		キャリア理論			14	○	
	個人的・社会的発達	個人的・社会的発達	13	○			
	対話のある授業	対話のある授業	14	○			
	学業発達	学業発達	15	○			
		よりよい学習者を育てる			18	○	
	学級・学校経営	学級経営	16	○			
		学級集団のアセスメントと学級経営			19	○	
	学校経営	学校経営				15	○
	マネジメント	マネジメント				16	○
	問題行動への対応	問題行動概説	17	○			
		非行	18	○			
		いじめ	19	○			
		不登校	20	○			
	ライフスキル教育	ライフスキル		20	○		
	特別なニーズへの対応	特別なニーズへの対応		21	○		
		教室で行う特別支援教育	21	○			
家族・対保護者の問題	保護者対応	22	○				
	家族・対保護者の問題				17	○	
教師のメンタルヘルス	教師のメンタルヘルス	23	○				
クライシス・カウンセリング	クライシス・カウンセリング				18	○	